

6 「未来を拓く人づくり」チャレンジ

「第二期チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	6	「未来を拓く人づくり」チャレンジ
----------	----------	-------------------------

政策	1	豊かな個性を伸ばす教育環境づくり	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	15	
<p>【政策推進に当たっての基本的な考え方】 子どもの個性や能力を最大限に引き出し、豊かな心を育成するためには、学校や地域全体で子どもを育む環境づくりに取り組むことが必要です。 このため、小中学校における少人数学級編制の拡大を行うとともに、スクールソーシャルワーカーの配置などに取り組めます。</p>					
平成26年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ 少人数教育の拡充		P.108	教育委員会	
	○ 確かな学力の定着・向上		P.108	教育委員会	
	○ 教員の資質向上の推進		P.108	教育委員会	
	○ 魅力と活力ある高校づくりの推進		P.109	教育委員会	
	○ 中高一貫教育の推進		P.109	教育委員会	
	○ 特別支援教育の推進		P.110	教育委員会	
	○ 食育運動の推進		P.110	企画県民部・ 教育委員会	
	○ 地域と連携した教育環境づくり		P.111	教育委員会	
	○ 私学教育の振興		P.111	総務部	
○ 県立学校の冷房設備導入の推進		P.112	教育委員会		
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			23,750 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			30,010 百万円	
	前年度までの事業費			19,562 百万円	
	本年度の事業費			10,448 百万円	
数値目標の達成状況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	全国学力・学習状況調査の全国平均正答数との比較割合（小・中学校）	98.7% (H22)	100.0% (H26)	99.3% (H26)	46.2
	学校給食における県産食材の使用割合	23.2% (H22)	30.0% (H26)	25.7% (H26)	36.8

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果																								
<p>1 少人数教育の 拡充</p> <p>【教：総務課】 【義務教育課】</p>	<p>教職員費 (項：小学校費) (1,047,369) 1,047,369</p> <p>教職員費 (項：中学校費) (797,918) 797,918</p>	<p>きめ細かな指導を行うため、小学校1・2年生を対象に30人学級編制を、小学校3～6年生及び中学校全学年を対象に35人学級編制を実施した。</p> <p>これにより、本県独自の少人数学級が完成し、子どもの学力向上等に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校全学年 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>小1 23校</td> <td>小2 44校</td> <td>小3 10校</td> <td>小4 16校</td> </tr> <tr> <td>小5 14校</td> <td>小6 14校</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(アクティブ 小1 0校</td> <td>小2 1校</td> <td>小3 0校</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>小4 0校</td> <td>小5 0校</td> <td>小6 0校)</td> </tr> <tr> <td>中1 23校</td> <td>中2 21校</td> <td>中3 26校</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(アクティブ 中1 3校</td> <td>中2 3校</td> <td>中3 1校)</td> <td></td> </tr> </table> 	小1 23校	小2 44校	小3 10校	小4 16校	小5 14校	小6 14校			(アクティブ 小1 0校	小2 1校	小3 0校			小4 0校	小5 0校	小6 0校)	中1 23校	中2 21校	中3 26校		(アクティブ 中1 3校	中2 3校	中3 1校)	
小1 23校	小2 44校	小3 10校	小4 16校																							
小5 14校	小6 14校																									
(アクティブ 小1 0校	小2 1校	小3 0校																								
	小4 0校	小5 0校	小6 0校)																							
中1 23校	中2 21校	中3 26校																								
(アクティブ 中1 3校	中2 3校	中3 1校)																								
<p>2 確かな学力の 定着・向上</p> <p>【義務教育課】</p>	<p>教育指導費 (25,195) 23,059</p>	<p>確かな学力の定着と向上に向け、放課後や土曜日等を活用した学習支援、退職教員による系統的な教員研修、客観的な学力把握、推進校における授業レベルでの実践・研究を内容とする4つの事業を組織的かつ計画的に実施した。</p> <p>これにより、各事業の内容や成果を積極的に発信した「学力向上フォーラム」や「学力向上の集い」を通して、各学校における「一校一実践」や「一人一実践」の取り組みの充実が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上対策会議の開催 4回 ・学力向上の集い 5地区で開催 ・授業改善プラン実践事業推進校の指定 小学校8校 中学校8校 ・小3、小5、中2を対象とした「山梨県学力把握調査」の実施 平成26年5月 																								
<p>3 教員の資質向 上の推進</p> <p>【教：総務課】 【義務教育課】 【高校教育課】</p>	<p>教育指導費 (708) 608</p>	<p>実践指導力の向上や幅広い視野と識見を得るため、年間を通して研修を実施するとともに、評価制度を実施し、教員の資質向上を推進した。</p> <p>これにより、教職員の意識改革と学校教育の充実に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員評価の実施 全県立学校 全公立小・中学校 ・大学・大学院等派遣研修等 国内大学、大学院留学生派遣研修の実施 25人 管理職研修校長等研修会、教頭研修会の開催 6回 民間企業等派遣研修の実施 2人 教職員等中央研修への派遣 77人 ・教科研修等 145講座 																								

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
4 グローバル化社会に対応できる英語力の向上 【教・総務課】 【義務教育課】	教育指導費 (1,736) 1,702	<p>児童生徒にグローバル化社会に対応できる、豊かな国際感覚と英語によるコミュニケーション能力を育むため、地域の外国語に堪能な人材を活用するとともに、指導に当たる教員の資質向上に取り組んだ。</p> <p>これにより、外国語活動での児童生徒への指導がよりきめ細かなものとなるとともに、英語教員の指導力の向上が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語を指導する小学校教員研修の実施 3講座 ・英語教員海外派遣研修の実施 アメリカ(デンバー大学)に高等学校教員を派遣 1人 イギリス(エクセター大学)に中学校教員を派遣 1人 ・外国語に堪能な地域人材の活用 派遣人数 1人 派遣回数 3回 派遣校数 1校(小学校)
5 魅力と活力ある高校づくりの推進 【新しい学校づくり推進室】 【学校施設課】	学校建設費 (2,545,423) 2,146,600 [395,052]	<p>生徒数が減少する中で、魅力と活力ある高校づくりを進めるため、東部地域及び峡南地域の高校の再編整備に取り組むとともに、3部制に改編した中央高校の拡充整備を実施した。</p> <p>これにより、東部地域に新たな総合制高校を開校するなど、生徒の学習環境の改善が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東部地域の再編整備 谷村工業高校と桂高校を再編し、都留興譲館高校を開校 平成26年4月 第1期建設工事(管理、普通教室棟)完了 平成27年3月 仮設校舎(実習棟、管理教室棟)改修 ・中央高校の整備・拡充 屋内運動場改築工事完了 平成27年2月
6 中高一貫教育の推進 【新しい学校づくり推進室】	———	<p>県内初の連携型中高一貫教育校の設置に向け、身延高校、身延中学校、南部中学校を対象候補校として、平成25年10月に設置した「身延・南部地域中高連携推進検討委員会」で計画した連携事業を進めた。また、同委員会に部会を設置し、事業の検証を行うとともに、その結果を踏まえて平成27年度の事業計画を決定した。</p> <p>これにより、本県の目指す中高一貫教育の取り組みの進展に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討委員会開催 4回、部会開催 7回 ・連携型中高一貫教育校の視察 1回(静岡県)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
7 特別支援教育の推進 【新しい学校づくり推進室】 【学校施設課】	甲府支援学校等費 (2,253,927) 1,902,550 [351,304]	<p>「やまなし特別支援教育推進プラン」に基づき、施設の老朽化や児童生徒の増加に対応した施設整備を行うとともに、軽度の知的障害のある高等部生徒への職業教育に特化した高等支援学校の開校準備を進めた。</p> <p>これにより、障害のある幼児児童生徒の学習環境の改善と職業教育の充実に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかば支援学校の改築整備 第1期建設工事（高等部棟、中学部棟、食堂、寄宿舎、特別教室棟）完了 平成27年3月 ・高等支援学校桃花台学園の整備・開校 校舎改修工事及び寄宿舎建設工事完了 平成27年1月 高等支援学校桃花台学園開校 平成27年4月 体育館建設工事着手 平成26年10月
8 食育運動の推進 【消費生活安全課】 【スポーツ健康課】	消費者行政費 (544) 446 学校保健費 (272) 135	<p>食育の基本的な方針や目標値を掲げた「第2次やまなし食育推進計画」に基づき、県民運動として食育を効果的に推進するための取り組みを進めた。また、児童生徒が、食に関する正しい知識などを身に付けるため、学校における食に関する指導の充実に努めるとともに、学校給食での地場産物の活用に向けた取り組みを推進した。</p> <p>これにより、地域団体や学校・保育所等が一体となって食育推進に取り組む気運がより一層高まるとともに、児童生徒・保護者の食に関する意識が向上した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講習会や体験指導等へのやまなし食育推進ボランティアの派遣 45件 ・食育推進シンポジウムの開催 平成26年6月 ・学校・家庭・地域が連携した食育の推進 食育シンポジウム・食育推進事業報告会 平成27年2月 <p>食育推進事業指定校 2校 地場産品を含む料理教室、栽培活動、給食試食会、レシピ集の発行 等</p>

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
9 地域と連携した教育環境づくり 【義務教育課】 【高校教育課】	教育指導費 (20,969) 16,780	<p>児童生徒の問題行動や心の問題に対応するため、社会福祉に関する専門的な知識を持つスクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒の置かれた様々な環境への働きかけを行った。</p> <p>これにより、379件の不登校等の課題に対応し、そのうち約37%が解決又は好転となり、児童生徒の問題解決に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールソーシャルワーカーの配置 4教育事務所 11人 総合教育センター 2人
10 生きる力を育む体験活動の推進 【高校教育課】	教育指導費 (16,000) 14,717	<p>生徒が社会における自分の役割を考え、課題を解決し、未来を拓いていく意欲を高めるため、体験的活動を計画的に実施した。</p> <p>これにより、生徒に自らの生き方やあり方を考えさせるとともに、社会人として自立するために必要な能力を育成することに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験的学習活動の推進 県立高校38校(全・定・通別)において地元主産業の果樹農業を学ぶ体験学習や親子ものづくり教室など168事業を実施
11 県立大学の一層の充実 【私学文書課】	———	<p>地域ニーズや時代の変化に対応し、将来にわたり県民の期待に応えられる魅力ある大学づくりを進めるため、大学院機能の充実を含めた教育研究組織のあり方及び具体的取り組みの方策について検討した。</p> <p>これにより、県立大学の魅力ある大学づくりに寄与した。</p>
12 私学教育の振興 【私学文書課】	私学振興費 (4,080,515) 4,076,974	<p>特色ある教育を行う私立学校の教育条件の維持向上や生徒等の経済的負担の軽減を図るため、私立学校運営費補助金の交付など、私立学校への支援を実施した。</p> <p>これにより、私立学校の安定的な運営に資するなど、私学教育の振興に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私立学校運営費補助による支援 幼稚園の補助単価の増額 1,000円/人 小学校の補助単価の増額 3,714円/人 中学校の補助単価の増額 3,725円/人 高等学校の補助単価の増額 1,000円/人 ・私立幼稚園への障害児就園に対する支援 補助単価(障害児2人以上在園の場合) 784,000円/人

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果				
13 私立学校修学 への支援拡充 【私学文書課】	私学振興費 (29,079) 28,441	<p>経済的な理由により修学することが困難な生徒の経済的負担を軽減するため、国の制度を活用する中で支援を行い、低所得世帯の授業料を減免する私立学校への支援を拡大した。</p> <p>これにより、私立学校に修学する低所得世帯の生徒の教育機会の確保に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私立高等学校授業料減免事業費補助金 補助金交付実績 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>年収 250 万円未満程度世帯</td> <td style="text-align: right;">430 人</td> </tr> <tr> <td>年収 250 万円～350 万円未満程度世帯</td> <td style="text-align: right;">251 人</td> </tr> </table> (年度途中で所得階層が変わった場合は重複計上) 	年収 250 万円未満程度世帯	430 人	年収 250 万円～350 万円未満程度世帯	251 人
年収 250 万円未満程度世帯	430 人					
年収 250 万円～350 万円未満程度世帯	251 人					
14 県立学校の冷房設備導入の 推進 【学校施設課】	学校建設費 (661,229) 391,091 [212,950]	<p>生徒たちに快適な学習環境を提供するため、平成23年度に策定した「県立学校冷房設備整備計画」に基づき、県立学校6校へ冷房設備の整備を進めた。</p> <p>これにより、県立学校の学習環境の改善に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立学校冷房設備の設置 (富士北麓・東部地域6校) <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>設計委託業務</td> <td>平成26年5月～9月</td> </tr> <tr> <td>冷房設置工事</td> <td>平成26年12月～平成27年9月</td> </tr> </table> 	設計委託業務	平成26年5月～9月	冷房設置工事	平成26年12月～平成27年9月
設計委託業務	平成26年5月～9月					
冷房設置工事	平成26年12月～平成27年9月					
15 学校の校庭芝 生化の推進 【学校施設課】	—————	<p>運動意欲の向上やけがの抑制など様々な効果のある校庭の芝生化を推進するため、新たに農林高校敷地の一部を芝生化することとし、それに必要な設備を整備した。また、公立小中学校に対しては、助成制度に関する情報を提供し、普及・啓発を行った。</p> <p>これにより、校庭の芝生化の効果や問題点などが明らかになり、今後の整備の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立学校の校庭芝生化 農林高校基盤整備工事 客土・芝張り 約400㎡ ・公立小中学校の芝生化 助成制度等の情報提供 随時 				

「第二期チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	6	「未来を拓く人づくり」チャレンジ
----------	---	------------------

政策	2	生涯を通じて学ぶ環境づくり	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	9	
<p>【政策推進に当たっての基本的な考え方】 生涯を通じて学ぶことができ、生きがいのある充実した人生を送ることができる生涯学習社会の実現が求められています。 このため、県民誰もが自主的・主体的に生涯学習に取り組めるよう、多様な学習機会の提供や生涯学習施設の充実を図ります。</p>					
平成26年度の主な取り組み状況	項 目			頁	担当部局
	○ 郷土の歴史・文化を学ぶ機会の充実			P.114	企画県民部
	○ 博物館等郷土学習の推進			P.114	教育委員会
	○ 生涯学習機会の充実			P.115	企画県民部
	○ 放課後子どもプランの推進			P.116	教育委員会
	○ 青少年の体験活動の推進			P.116	教育委員会
	○ 若者による地域活性化プロジェクトの推進			P.116	教育委員会
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			5,680 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			4,778 百万円	
	前年度までの事業費			4,700 百万円	
	本年度の事業費			78 百万円	
数値目標の達成状況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	県立文化施設（美術館、博物館、考古博物館、文学館）で行われる郷土学習関連事業参加者数	18,439 人 (H22)	25,000 人 (H26)	25,965 人 (H26)	114.7

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果																								
<p>1 新県立図書館の整備</p> <p>【社会教育課】</p>	<p>—————</p>	<p>新県立図書館は恵まれた立地条件や充実した施設整備により予想を上回る入館者を得て、多様な知的活動の拠点としての機能を果たしている。</p> <p>また、管理の効率化を図るため、図書館としての中核的業務以外の施設管理業務については、指定管理制度を導入している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年度入館者数 905,801 人 ・平成 26 年度貸出点数 439,753 点 ・平成 26 年度交流ルーム等利用者数 115,198 人 ・施設管理業務等の指定管理者への委託 <p>平成 24 年 11 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日</p>																								
<p>2 郷土の歴史・文化を学ぶ機会の充実</p> <p>【生涯学習文化課】</p>	<p>社会教育振興費 (1,123) 1,091</p>	<p>山梨の歴史や文化への知識を高めるため、生涯学習推進センターにおいて本県の歴史・文化・民俗などに関する学習機会を提供した。</p> <p>これにより、多くの県民が郷土の歴史等を学ぶ機会を得て、郷土に対する誇りを再認識することに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山梨学講座の開催 11 講座 41 回 参加者 2,581 人 																								
<p>3 博物館等郷土学習の推進</p> <p>【学術文化財課】</p>	<p>考古博物館費 (472) 261</p> <p>文学館費 (393) 374</p> <p>博物館費 (826) 793</p>	<p>県民が郷土を知り、郷土を愛する心を育てるため、県立博物館等で実施される郷土学習関連事業への参加を促進した。</p> <p>これにより、各館が実施した様々な郷土学習関連事業に 25,965 人が参加し、郷土学習の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各館における郷土学習関連講座等の実施 山梨の文学散歩、史跡文化財セミナー 外全 81 回 ・博学連携による郷土学習の推進 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>考古博物館</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> チャレンジ博物館</td> <td>14 回</td> <td>296 人</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>博物館</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 郷土体験プログラム</td> <td>14 回</td> <td>456 人</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 自由研究プロジェクト</td> <td>1 回</td> <td>808 人</td> <td>外</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>25,965 人</td> <td></td> </tr> </table>	考古博物館				チャレンジ博物館	14 回	296 人	外	博物館				郷土体験プログラム	14 回	456 人		自由研究プロジェクト	1 回	808 人	外	合計		25,965 人	
考古博物館																										
チャレンジ博物館	14 回	296 人	外																							
博物館																										
郷土体験プログラム	14 回	456 人																								
自由研究プロジェクト	1 回	808 人	外																							
合計		25,965 人																								

施策・事業名 【担当課名等】	予 算 科 目 (予算現額) 決 算 額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
4 生涯学習機会の充実 【生涯学習文化課】	社会教育振興費 (53,183) 50,827	<p>生涯学習に対する幅広いニーズに応えるため、生涯学習推進センターを拠点に市町村や大学、NPOと連携した多様な学習機会の提供やインターネットを活用した学習情報の提供など、県民の学習活動を支援した。これにより、県民の生涯にわたる学習機会の充実に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習推進センターでの各種講座等の開催 170 講座 453 回 参加者 10,101 人 ・「キャンパスネットやまなし」による講座情報の提供 連携機関 313 箇所 講座情報誌発行 4 回 奨励賞受賞者 302 人 ・「やまなしまなびネットワークシステム」による学習情報の提供 掲載情報数 4,753 件
5 社会教育関係団体の活性化 【社会教育課】	社会教育振興費 (800) 765	<p>地域における教育力の向上を図るため、社会教育振興フォーラムの開催や体験交流など、社会教育関係団体が行う取り組みを支援した。これにより、社会教育振興フォーラムに多数の参加者を集めるとともに、体験交流活動への参加者が増加するなど、社会教育の振興と社会教育関係団体の活性化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育振興フォーラムの開催 平成 26 年 11 月 参加者 47 人 ・体験交流活動の実施 4 地区 11 箇所で開催 参加者延べ 656 人 ・指導者の養成 4 回実施 参加者延べ 392 人
6 やまなし学校応援団の育成 【社会教育課】	—————	<p>教員が子どもと向き合う時間を増やし、住民の学習成果の活用機会の充実及び地域の教育力の活性化を図るため、地域が学校を支援する体制づくりを推進した。これにより、学校応援団の活動への理解を深めることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会の実施 平成 26 年 11 月 参加者 223 人 ・市町村が行う学校応援団への支援 講演会への講師紹介 先進的な学校支援事例を紹介したホームページの作成・公開

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
7 放課後子ども プランの推進 【社会教育課】	社会教育振興費 (20,866) 19,673	<p>子どもたちが安全で健やかに過ごせる居場所を確保するため、地域人材や学生ボランティアの活用などにより、放課後や週末に、勉強やスポーツ・文化活動などを行う「放課後子どもプラン」を推進した。</p> <p>これにより、放課後や休日における子どもの安全で安心な居場所づくりとより良い教育活動の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進委員会の開催 3回 参加者 58人 ・研修会の開催 5回 参加者 267人 ・市町村が行う放課後子供教室への支援 学生ボランティア活用支援 各種教室へ大学生を派遣 192回 参加学生数延べ 673人
8 青少年の体験 活動の推進 【社会教育課】	社会教育振興費 (2,555) 2,519	<p>心豊かでたくましい青少年の育成を目指し、洋上生活体験や八丈島における自然体験活動を通して友情・連携・奉仕の精神を涵養するとともに、地域リーダーとしての資質向上を図った。</p> <p>これにより、国立青少年教育振興機構の I K R 「生きる力テスト」で事前から事後にかけて 12.1 ポイント向上し、本事業により子どもたちの「生きる力」が向上した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前研修（班編制、野外炊さん活動） 平成 26 年 7 月 参加者 50 人 ・現地研修（野外生活体験活動） 東京都八丈島で実施 平成 26 年 8 月 参加者 47 人 ・事後研修（小中学生交流活動） 平成 26 年 8 月 八丈小中学生との交流等
9 若者による地域 活性化プロジェ クトの推進 【社会教育課】	社会教育振興費 (2,396) 1,937	<p>中心市街地の活性化とともに、将来の地域リーダーとしての資質向上を図るため、大学生を中心とした若者による地域活性化プロジェクトを実施した。</p> <p>これにより、学生独自のイベントが実施されるなど、地域の活性化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化プロジェクトの公募・実施 活性化アイデアの応募 47 件 入賞アイデアの実施 ・事業報告会の開催 平成 27 年 3 月

「第二期チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	6	「未来を拓く人づくり」チャレンジ
----------	---	------------------

政策	3	芸術・文化・スポーツの振興	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	13	
<p>【政策推進に当たっての基本的な考え方】 魅力ある文化を創造し、心豊かに生きがいのある生活を送るためには、芸術文化に親しむ機会の充実が必要です。 このため、国内最大級の文化の祭典である国民文化祭を開催するとともに、伝統文化の継承や文化財の保存・活用を進めます。 また、県民が健康で豊かに生きるため、誰でもどこでもスポーツに親しむことのできる環境づくりに努めます。</p>					
平成26年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ 県民文化祭の開催		P.118	企画県民部	
	○ 山梨近代人物館の整備		P.118	教育委員会	
	○ 国・県指定文化財の指定及び保存・活用		P.118	教育委員会	
	○ 芸術文化の振興		P.119	企画県民部	
	○ 県立文化施設の魅力向上		P.119	教育委員会	
	○ スポーツ・レクリエーション祭の開催		P.120	教育委員会	
	○ 全国高校総体の開催と国体開催に向けた取り組み		P.121	教育委員会	
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			6,820 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			4,599 百万円	
	前年度までの事業費			3,426 百万円	
	本年度の事業費			1,173 百万円	
数値目標の達成状況	数値目標の名称	基準値 (基準年度) A	目標値 (目標年度) B	現況値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A}\right) \times 100$
	県立文化施設（美術館、博物館、考古博物館、文学館）の企画展・イベント等開催件数	516 回 (H22)	564 回 (H26)	579 回 (H26)	131.3
	県営スポーツ公園（小瀬スポーツ公園、富士北麓公園、緑が丘スポーツ公園）の利用者数	988 千人 (H22)	1,027 千人 (H26)	1,086 千人 (H26)	251.3

主要な施策の成果

(予算科目 単位：千円)

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
<p>1 県民文化祭の開催</p> <p>【生涯学習文化課】</p>	<p>芸術文化振興費 (23,219) 21,362</p>	<p>県民の幅広い文化活動への参加を促進し、個性あふれる文化を創造するため、県民総参加の「やまなし県民文化祭」を開催した。併せて、国文祭の成果の継承として新たな事業を県民文化祭で実施した。</p> <p>これにより、県民文化祭の総参加者数は33万1,681人に上り、芸術文化活動の振興に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合フェスティバル開催 2事業 平成26年11月～平成27年3月 ・部門別フェスティバルの開催 24ジャンル 平成26年7月～平成27年2月 ・地域フェスティバルの開催 3事業 平成26年4月～平成27年3月
<p>2 山梨近代偉人館の整備</p> <p>【学術文化財課】</p>	<p>文化財保護費 (217,845) 204,389</p>	<p>県庁舎別館の耐震改修工事に合わせ「山梨県庁舎別館展示施設整備基本計画」に基づき、現在の山梨県発展の礎を築いた「ふるさと山梨の先人」の功績や県政の歴史を広く伝える展示施設の整備を行った。</p> <p>展示施設の名称：山梨近代人物館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示工事 平成26年6月～平成27年3月
<p>3 国・県指定文化財の指定及び保存・活用</p> <p>【学術文化財課】</p>	<p>文化財保護費 (140,934) 126,682</p>	<p>本県の文化財の保存・活用を推進するため、文化財保護審議会の審議に基づく文化財指定を行うとともに、埋蔵文化財等についての調査や文化財保存等に関する取り組みを支援した。</p> <p>これにより、指定文化財の適切な保存に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護審議会の開催 2回 ・市町村が行う調査への支援 8件 ・国・県指定文化財の保存事業への支援 83件
<p>4 甲府城跡櫓門の整備</p> <p>【学術文化財課】</p>	<p>—————</p>	<p>県民への歴史教育の充実や甲府市中心市街地の活性化や観光振興につなげるため、平成24年度に復元整備が終了した甲府城跡の鉄門（くろがねもん）を活用した普及イベントを行った。</p> <p>これにより、県民が甲府城の歴史を学ぶ機会となり、さらに魅力ある観光スポットとしての集客力を高め、甲府市中心市街地の活性化に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄門パネル展示、建物解説、体験教室等の開催

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
5 芸術文化の振興 【生涯学習文化課】	芸術文化振興費 (3,195) 3,156	<p>県内の芸術文化活動を促進するため、優れた芸術文化の鑑賞機会を提供するとともに、芸術文化団体に対して支援した。</p> <p>これにより、担い手の育成や底辺拡大を図るなど芸術文化の振興に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山梨芸術劇場の実施 7回 ・山梨県芸術文化協会への支援 講習会6回 指導者派遣52回に助成
6 ミュージアム 甲斐・ネットワークの推進 【学術文化財課】	—————	<p>県内各地にある博物館や美術館の相互の連携と、利用者のサービス向上を目的に結成したミュージアム甲斐・ネットワークの活動を推進した。</p> <p>これにより、県民文化の更なる向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク会議の開催 2回
7 県立文化施設の 魅力向上 【学術文化財課】	美術館費 (162,485) 149,514 考古博物館費 (80,071) 73,473 文学館費 (40,949) 37,354 博物館費 (281,322) 268,364	<p>県立美術館等県立文化施設4館において、多彩な展覧会やイベントの開催、博学連携の強化、積極的な情報発信等により、一層の魅力向上に取り組んだ。</p> <p>これにより、多くの県民に学習・鑑賞機会を提供することに寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展等の開催・充実 4館の来館者445,295人

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
8 生涯・地域スポーツの推進 【スポーツ健康課】	体育振興費 (1,278) 1,009	<p>県民の誰もが、生涯にわたり、いつでも、どこでもスポーツに参加できるよう、広域スポーツセンターを活用し、総合型地域スポーツクラブを設立・育成するとともに、県民に必要なスポーツ情報を提供した。</p> <p>これにより、情報ネットへのアクセス数が増加し、誰もがスポーツに参加しやすい環境整備に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域スポーツセンター運営会議の開催 3回 ・総合型スポーツクラブフェスタの開催 <p style="text-align: right;">平成 26 年 11 月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ情報等の提供 「やまなしスポーツ情報ネット」の充実
9 スポーツ・レクリエーション祭の開催 【スポーツ健康課】	体育振興費 (4,239) 4,182	<p>県民が気軽にスポーツやレクリエーションを楽しみ、交流が深められるよう、県スポーツ・レクリエーション祭の開催に対して支援した。</p> <p>これにより、10市町において19種目の競技が実施され、4,957人が参加したことにより、県民の生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動の振興に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県スポーツ・レクリエーション祭実行委員会への支援 県スポーツ・レクリエーション祭の開催 <p style="text-align: right;">平成 26 年 5 月</p>
10 ジュニアアスリートの強化 【スポーツ健康課】	体育振興費 (18,450) 18,450	<p>優れた資質を有するジュニア選手の発掘・育成・強化を進めるため、中・長期的展望に立ったジュニア期からの一貫した指導体制の強化に取り組んだ。</p> <p>これにより、指導体制の整備を推進し、ジュニア層の競技力向上に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツタレント発掘・育成・強化 6回 小中学生を対象にスポーツイベント・フェスティバルの開催 ・指導者育成・強化研修会の開催 7回 より高度で最新の指導技術を習得する技術研修会の開催 ・競技者育成・強化実技講習会の開催 5回 小中高校生を対象に年齢層に応じた技術・練習方法を習得する講習会の開催

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要及び成果
11 スポーツ少年団の育成 【スポーツ健康課】	体育振興費 (856) 754	<p>スポーツ少年団の指導・推進体制を充実させるため、県スポーツ少年大会の開催やリーダーの養成など、スポーツ少年団の育成・強化に取り組んだ。</p> <p>これにより、全体の児童生徒数の減少に伴い、団員数の減少傾向は見られるが、底辺拡大につながる、スポーツ選手育成が推進された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県スポーツ少年大会の開催 平成 26 年 8 月 ・リーダー養成講習会の開催 5 回 ・県スポーツ少年団フェスティバルの開催 平成 26 年 4 月
12 全国高校総体の開催と国体開催に向けた取り組み 【スポーツ健康課】 【全国高校総体推進室】	体育振興費 (261,696) 260,054	<p>平成 26 年度全国高校総体を南関東四都県で開催し、本県では、7 月 30 日から 8 月 9 日までの 11 日間、陸上競技など 8 競技を 7 市 2 町において、選手・指導者約 1 万 700 人が熱戦を繰り広げた。</p> <p>大会では、県内の多くの高校生が様々な活動を通して大会の準備運営に参画するとともに、本県選手が好成績を収めた。</p> <p>これにより、心身ともに健全な中学生・高校生の育成の推進に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国高校総体の開催 広報活動の実施（印刷物作成、屋外広告物掲示等） 高校生活動の推進（歓迎活動、競技運営補助等） 会場地市町への支援（開催費補助、担当教員派遣） 競技用具の整備 ・関係都道府県及び関係団体等と連携した国体に関する情報交換
13 県立射撃場の整備 【みどり自然課】 【スポーツ健康課】	体育振興費 (2,441) 2,441 鳥獣管理費 (5,550) 2,697	<p>平成 23 年度新たな県立射撃場の整備について、その必要性や財政状況等を幅広く検討のうえ方針を決定するとともに、必要な代替措置を検討した。</p> <p>これにより、射撃場の整備を当分の間凍結することを決定し、クレー射撃の競技力や鳥獣被害対策に影響が出ないように代替策を講じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代替措置の実施 クレー射撃競技練習場確保への支援 延べ 744 名 管理捕獲従事者射撃訓練への支援 延べ 635 名

